

# 九州水素フォーラム2026

日時

2026年**1月27日** (火曜日)  
**13時00分～16時00分** (開場12時30分)

会場

電気ビル共創館カンファレンスA  
(福岡県福岡市中央区渡辺通2丁目1番82号  
電気ビル共創館 3階)

対象 企業、大学、自治体、支援機関等

ハイブリッド開催 (会場:120名・オンラインMicrosoft Teams形式:200名) / 参加無料

## 【特別講演】

### 『水分解光触媒を用いるグリーン水素 および燃料製造の現状と課題』

信州大学 特別栄誉教授/東京大学 特別教授 堂免 一成 氏



## 【基調講演】

### 『旭化成の水素社会に向けた取り組み』

旭化成株式会社 グリーンソリューションプロジェクト  
水電解企画室長 平野 稔幸 氏



## 【講演】

### 『水素研究開発の歴史と将来展望』

九州大学 水素材料先端科学研究センター 特任教授 横本 克巳 氏

### 『水素利活用のためのトライボロジー研究紹介』

九州大学大学院 工学研究院機械工学部門 設計工学研究室 教授  
九州大学 水素材料先端科学研究センター 副センター長 澤江 義則 氏

### 『水素研究成果の実用化に向けた知財戦略支援について』

INPIT(独立行政法人工業所有権情報・研修館) 知財戦略エキスパート 飯島 敏夫 氏

### 『高専発スタートアップ企業が取り組むバナジウム合金膜水素精製技術』

株式会社Ultra-High Purity 上級主席研究員/  
独立行政法人 国立高等専門学校機構 本部事務局 研究総括参事/大分工業高等専門学校 教授(併任)  
松本 佳久 氏

申込

事前申込制・申込締切: 2026年**1月22日(木曜日)17時**

申込フォーム [https://mm-enquete-cnt.meti.go.jp/form/pub/kyusyuenekan/hydro\\_kyushu2026](https://mm-enquete-cnt.meti.go.jp/form/pub/kyusyuenekan/hydro_kyushu2026)



# プログラム

## 13:00 主催者挨拶

九州経済産業局 資源エネルギー環境部長 太田 保光  
福岡県 副知事 江口 勝（予定）  
INPIT(独立行政法人工業所有権情報・研修館) 理事長 渡辺 治

## 13:15 特別講演

### 『水分解光触媒を用いるグリーン水素および燃料製造の現状と課題』

信州大学 特別栄誉教授/東京大学 特別教授 堂免 一成 氏



水分解微粒子光触媒による水の直接分解を基盤技術とし、グリーン水素や燃料の合成法への展開についてその現状と課題をお話しいたします。また、水分解光触媒は、太陽エネルギー変換効率の向上が大きな課題ですが、克服するためには光触媒材料のどのような性質を改良すべきかという点について説明いたします。さらに安価に光触媒を大面積に展開するための光触媒シートや水分解パネルの構造、酸水素混合気体から安全に水素を分離するためのシステム等について、さらに生成したグリーン水素を迅速にグリーン燃料に転換する反応系についても紹介いたします。

## 13:45 基調講演

### 『旭化成の水素社会に向けた取り組み』

旭化成株式会社 グリーンソリューションプロジェクト 水電解企画室長 平野 稔幸 氏



食塩電解事業で培った技術を基盤に、2010年よりアルカリ水電解水素製造システムの開発を進めてまいりました。また、政府からのご支援の下、28年度には当社川崎地区で水電解関連部材の生産設備増強も実施する予定です。今回は、本年度から本格的に事業化フェーズへ移行した、当社の水素関連の取り組みについて紹介いたします。

14:15 休憩

## 14:25 講演 1

### 『水素研究開発の歴史と将来展望』

九州大学 水素材料先端科学研究所センター 特任教授 横本 克巳 氏

新エネルギー導入、エネルギー供給の安定化・効率化、地球環境問題の解決のために実施されてきたニューサンシャイン計画、WE-NETプロジェクトなど含めた背景と研究開発の紹介、現在実施されている水素関連の研究開発プロジェクトとその将来に向けた期待について紹介します。

## 14:45 講演 2

### 『水素利活用のためのトライボロジー研究紹介』

九州大学大学院 工学研究院機械工学部門 設計工学研究室 教授

九州大学 水素材料先端科学研究所センター 副センター長 澤江 義則 氏

水素エネルギーシステム内の機器には多くの軸受やシール、継手等の機械要素が使用されており、機器の円滑で確実な動作を支えると共に、水素漏洩を防止しシステム全体の安全を担保しています。これらの機械要素に用いられる材質には、水素雰囲気において良好な摩擦・摩耗特性（トライボロジー特性）を示すことが求められます。ここでは、水素利活用技術の高度化への貢献を目指したトライボロジー研究について紹介いたします。

## 15:05 講演 3

### 『水素研究成果の実用化に向けた知財戦略支援について』

INPIT(独立行政法人工業所有権情報・研修館) 知財戦略エキスパート 飯島 敏夫 氏

エネルギー関連技術は、そのシステム構造が大きく、競争も国際的で、かつ社会インフラに直結するため、戦略的に組まれた知的財産ポートフォリオが必要となります。INPITは、中小企業、アカデミア及びスタートアップの皆様に対し知財に関する様々な支援サービスを提供しています。本日は、知財基礎概要、研究開発成果の社会実装に向けた知財活用術、水素分野における知財活用事例の紹介及び知財戦略エキスパート支援等について紹介いたします。

## 15:25 講演 4

### 『高専発スタートアップ企業が取り組むバナジウム合金膜水素精製技術』

株式会社Ultra-High Purity 上級主席研究員

独立行政法人 国立高等専門学校機構 本部事務局 研究総括参事

大分工業高等専門学校 教授(併任) 松本 佳久 氏

Ultra-High Purity社は、バナジウム合金を用いた独自の水素精製技術「VASA-UHP」を開発しました。高専機構やJST-CRESTの研究成果（知財）を活用し、従来の貴金属合金よりも高性能かつ低コストな金属膜による水素分離・精製を実現。最先端半導体製造など、超高純度水素を必要とする産業ニーズに応えるべく、水素分離モジュールの開発を進めています。本講演では、九州・大分での事業化に向けた取り組みと、高専発スタートアップとしての挑戦と経験を紹介いたします。

## 15:50 閉会挨拶

九州大学 副学長 佐々木 一成

## 16:00 名刺交換会

### お問合せ 事務局

九州経済産業局 資源エネルギー環境部 資源エネルギー環境課  
担当：朝日、安達  
電話：092-482-5468  
E-MAIL : bzl-k-kanene@meti.go.jp

株式会社フラー  
担当：工藤、濱砂  
電話：092-751-8830  
E-MAIL : seminar@frau-net.com